

令和6年度（第24回）善通寺市子ども・子育て支援会議 議事録

- 1 日 時 令和6年4月18日（木）15時30分～17時10分
- 2 場 所 ZEN キューブ3階 講習室3
- 3 出席者 委員9名
欠席6名
- 4 会議の概要
 1. 保健福祉部部長挨拶
 2. 議事
 - （1）善通寺市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告について
 - （2）その他
- 5 資料
 - ・善通寺市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告書
- 6 会議録
 1. 議事

善通寺市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告について

〔事務局〕調査業務委託先である株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所より、資料「善通寺市子ども・子育て支援に関するアンケート調査結果報告について」に沿って説明。

〔会 長〕（アンケート結果について）前回の第2期事業計画策定の時期から子育て家庭、地域の状況がかなり変わっている。特に顕著であるのが、世帯収入が増えていること。働きながら子育てをする家庭が主流となっっていることの表れであり、そこに対する支援に切り替えていかなければいけない。また、スタディアフタースクールの利用が増加していることなど、放課後支援の需要の増加も顕著である。もう一つ顕著なのは、幼稚園と保育所に加え認定こども園ができたことで市民の選択肢が増え、利用者の割合が変化していること。あと、子どもの居場所について、「わからない」という回答の割合が大きい点について、利用したい人にとっては必要なものだが、一般社会の中では子どもの居場所についてコンセンサスを得られていない可能性が高い。

その他、いろいろと調査項目も出ているので、各委員より気づいたことなどご発言いただきたい。

〔委員〕大前提として、アンケートの調査結果をどのように解釈するかが重要。子育て事業について、いわゆる困っている方や困っている事を認識していない方へのアプローチということになると考えるが、そういう方はアンケート結果でみると少数派である。数値の高いところだけでなく、少数派を主眼に置くことも、アンケート結果の解釈の仕方として大事ではないか。

〔委員〕認定こども園のニーズが高まっていることについて、働き手不足が大きな課題となっている。不適切保育が大きく取りざたされている中で、（クレーム等）リスクを負ってまでやりたくないという声もある。需要がある中で、担い手がない現状をどう対応するべきか苦慮しているのが現状。

〔委員〕保育士不足は本当に切実な問題であると感じる。賃金が少ない、負担が大きいなどのネガティブなイメージが強くなりすぎており、これを払拭しきれていない。これを何とか改善できないものか。

〔会長〕全国的に保育士養成校が減ってきている。また、保育士を目指さない人が増えている。

〔委員〕保育士の仕事について、待遇はよくなってきているが、まだまだ現場が負担に感じるところが残っているのが現状。

〔会長〕今出たような話を何とかしようとするとやはり財源は必要。どのように財源を確保し、どのように充てていくか、広く市民から徴収することになれば、行政のサービスが実態に即しているものでなければ市民の理解を得るのは難しい。市民の子育て支援への意識を高めていきつつ、それにこたえられる制度設計をしていく必要がある。

〔委員〕（アンケートについて）サービスを利用したいかしたくないかだけの選択肢では、「利用したいけどできない」といったグレーゾーンの拾い上げが難しいように感じる。

拠点事業の利用について、働きながら子育てする世帯が増えたことで、育休期間中の1年だけ利用するなど、利用期間が短くなっているように感じる。

「今後も善通寺市で子育てしていきたいですか」という設問について、肯定的な回答の割合が依然として大きいですが、前回調査時から比べると数パーセント落ちているのではないかと。他の自治体も子育て支援の整備が進んでおり、そういった自治体と善通寺が比較されるようになってきていることも意識しないといけない。

〔会 長〕現状の制度、取り組みを継続するだけでなく、時代に合わせ、その時の世代に合わせた仕組みにしていくことで満足度や、子育ての主観的な幸福度の向上につながるだろう。

〔委 員〕給食費の無償化を望む意見が多い。給食費の補助の内容が保護者が自治体を選ぶ要素の一つとなっていると感じる。

〔委 員〕共働き世帯が増えてきたことで病児、延長保育のニーズが高まっているが、人手不足などで受け入れ体制が整えられない。善通寺市として受け入れ体制を整えられないか。

〔委 員〕病児、病後保育について、実施している事業者が少ない。土曜の対応ができないなどの制約もあり、ニーズに即していない現状があるように感じる。

〔委 員〕フルタイムで働く世帯が増えたことで、家庭での子どもとの時間が確保できず、子どもが困っていることに気づけない親がいるように感じる。

〔会 長〕親自身の経験もあるだろう。公園の話もあったと思うが、公園があるだけでは、そこで遊ぶとはならないだろう。遊び方まで教えていかなければいけない。支援の仕方もハードを整えるだけでなくソフトも考えていかなければいけない。つらいことはつらいといえる環境、風土を善通寺市の子育て支援の領域で作っていくことを考えていかなければいけない。

〔委 員〕校門が開く時間は遅くなったと聞くが、親の仕事の時間は変わっていないのではないか。そうすると、親の出勤時間に対して学校が開くまでの空白期間が発生しているのではないかと感じる。アンケート結果に出ているわけではないが、親が先に家を出て、子どもが鍵を閉めて家を出るということになっていないのか。

〔委 員〕一番大きい問題は財源が無ければやろうとしてもなかなか取り組めない点ではないか。善通寺市として財源を確保してニーズに合わせた取り組みしていただきたい。

〔会 長〕どういう施策を組んでいくべきかどういふ問題を提起しておくか、家庭での育ちを支えることと担い手・体制づくりをどのようにしていくかそういったことがこれからの協議になっていくだろう。今後の会議の中でも議論を深めていきたい。

(3) その他

〔事務局〕 今後も計画の策定に向けて会議の開催を予定しているため、引き続き会議へご出席いただき、ご意見をいただきたい。

－ 閉会する －